

## 議案第30号

あきる野市税賦課徴収条例の一部を改正する条例

上記の議案を提出する。

令和7年6月5日

提出者 あきる野市長 中嶋博幸

### 提出理由

地方税法及び地方税法等の一部を改正する法律の一部を改正する法律（令和7年法律第7号）の施行に伴い、規定を整備するとともに、必要な文言整理を行う必要がある。

あきる野市税賦課徴収条例の一部を改正する条例

あきる野市税賦課徴収条例（平成7年あきる野市条例第36号）の一部を次のように改正する。

第34条の2中「又は扶養控除額」を「、扶養控除額又は特定親族特別控除額」に改める。

第36条の2第1項ただし書中「若しくは法第314条の2第4項」を「、法第314条の2第4項」に改め、「扶養控除額」の次に「若しくは特定親族特別控除額（特定親族（同条第1項第12号に規定する特定親族をいう。第36条の3の2第1項第3号及び第36条の3の3第1項において同じ。）（前年の合計所得金額が85万円以下であるものに限る。）に係るものを除く。）」を加える。

第36条の3の2第1項第3号中「扶養親族」の次に「又は特定親族」を加える。

第36条の3の3第1項中「者に限る。）」の次に「若しくは特定親族（退職手当等に係る所得を有する者であって、合計所得金額が85万円以下であるものに限る。）」を加え、同項第3号中「扶養親族」の次に「又は特定親族」を加える。

第89条第2項中「当該軽自動車等について減免を受けようとする税額及び次の各号に掲げる事項を記載した申請書」を「減免申請書」に改め、同項各号を削る。

第90条第2項中「次の各号に掲げる事項を記載した申請書」を「減免申請書」に改め、同項各号を削り、同条第4項中「前条第2項各号に掲げる事項を記載した申請書」を「減免申請書」に改め、同条第6項中「第2項各号に掲げる事項又は第4項に規定する前条第2項各号に掲げる」を「減免申請書に記載した」に、「申請書」を「減免申請書」に改める。

附則第16条の2の次に次の1条を加える。

（加熱式たばこに係るたばこ税の課税標準の特例）

第16条の2の2 令和8年4月1日以後に第92条の2第1項の売渡し又は同条第2項の売渡し若しくは消費等（次項において「売渡し等」という。）が行われた加熱式たばこ

（第92条第1号オに掲げる加熱式たばこをいい、第93条の2の規定により製造たばことみなされるものを含む。以下この条において同じ。）に係る第94条第1項の製造たば

この本数は、同条第3項の規定にかかわらず、当分の間、次の各号に掲げる区分に応じ、当該各号に定める方法により換算した紙巻たばこ（第92条第1号アに掲げる紙巻たばこをいう。以下この項及び次項において同じ。）の本数によるものとする。

- (1) 葉たばこ（たばこ事業法第2条第2号に規定する葉たばこをいう。）を原料の全部又は一部としたものを紙その他これに類する材料のもので巻いた加熱式たばこ（当該葉たばこを原料の全部又は一部としたものを施行規則附則第8条の4の2に規定するところにより直接加熱することによって喫煙の用に供されるものに限る。）当該加熱式たばこの重量（フィルターその他の施行規則附則第8条の4の3に規定するものに係る部分の重量を除く。以下この項から第3項までにおいて同じ。）の0.35グラムをもって紙巻たばこの1本に換算する方法。ただし、当該加熱式たばこの1本当たりの重量が0.35グラム未満である場合にあっては、当該加熱式たばこの1本をもって紙巻たばこの1本に換算する方法
  - (2) 前号に掲げるもの以外の加熱式たばこ 当該加熱式たばこの重量の0.2グラムをもって紙巻たばこの1本に換算する方法。ただし、当該加熱式たばこの品目ごとの1個当たりの重量が4グラム未満である場合にあっては、当該加熱式たばこの品目ごとの1個をもって紙巻たばこの20本に換算する方法
- 2 前項の規定により加熱式たばこのうち同項第1号ただし書の規定の適用を受けるもの及び同項第2号ただし書の規定の適用を受けるもの以外のものの重量を紙巻たばこの本数に換算する場合における計算は、売渡し等が行われた加熱式たばこの品目ごとの1個当たりの重量に当該加熱式たばこの品目ごとの数量を乗じて得た重量を同項各号に掲げる区分ごとに合計し、その合計重量を紙巻たばこの本数に換算する方法により行うものとする。
- 3 前項の計算に関し、同項の加熱式たばこの品目ごとの1個当たりの重量に0.1グラム未満の端数がある場合には、その端数を切り捨てるものとする。
- 4 第1項第2号に掲げる加熱式たばこ（第93条の2の規定により製造たばことみなされるものに限る。）のうち、次に掲げるものについては、同号ただし書の規定は、適用しない。

- (1) 第1項第1号に掲げる加熱式たばこと併せて喫煙の用に供されるもの
- (2) 第1項第2号に掲げる加熱式たばこ（第93条の2の規定により製造たばことみなされるものを除く。）と併せて喫煙の用に供される加熱式たばこ（同条の規定により製造たばことみなされるものに限る。）であって当該加熱式たばこのみの品目のもの

#### 附 則

（施行期日）

第1条 この条例は、次の各号に掲げる区分に応じ、それぞれ当該各号に定める日から施行する。

- (1) 第89条第2項並びに第90条第2項、第4項及び第6項の改正規定 令和7年8月25日
- (2) 第34条の2、第36条の2第1項ただし書、第36条の3の2第1項第3号及び第36条の3の3第1項の改正規定並びに次条の規定 令和8年1月1日

(3) 附則第16条の2の次に1条を加える改正規定及び附則第3条の規定 令和8年  
4月1日

(市民税に関する経過措置)

第2条 この条例による改正後のあきる野市税賦課徴収条例（以下「新条例」という。）第  
34条の2及び第36条の2第1項ただし書の規定は、令和8年度以後の年度分の個人の  
市民税について適用し、令和7年度分までの個人の市民税については、なお従前の例によ  
る。

2 令和8年度分の個人の市民税に係る申告書の提出に係る新条例第36条の2第1項の規  
定の適用については、同項ただし書中「特定親族特別控除額（特定親族（同条第1項第  
12号に規定する特定親族をいう。第36条の3の2第1項第3号及び第36条の3の3  
第1項において同じ。）（前年の合計所得金額が85万円以下であるものに限る。）に係  
るものを除く。）」とあるのは、「特定親族特別控除額」とする。

3 新条例第36条の3の2第1項の規定は、附則第1条第1号に掲げる規定の施行の日  
（以下「1号施行日」という。）以後に支払を受けるべき新条例第36条の2第1項た  
だし書に規定する給与について提出する新条例第36条の3の2第1項及び第3項の規定に  
よる申告書について適用し、1号施行日前に支払を受けるべきこの条例による改正前のあ  
きる野市税賦課徴収条例（以下「旧条例」という。）第36条の2第1項ただし書に規定  
する給与について提出した旧条例第36条の3の2第1項及び第3項の規定による申告書  
については、なお従前の例による。

4 新条例第36条の3の3第1項の規定は、1号施行日以後に支払を受けるべき所得税法  
（昭和40年法律第33号）第203条の6第1項に規定する公的年金等（同法第203  
条の7の規定の適用を受けるものを除く。以下この項において「公的年金等」という。）  
について提出する新条例第36条の3の3第1項の規定による申告書について適用し、1  
号施行日前に支払を受けるべき公的年金等について提出した旧条例第36条の3の3第1  
項の規定による申告書については、なお従前の例による。

(市たばこ税に関する経過措置)

第3条 次項に定めるものを除き、附則第1条第2号に掲げる規定の施行の前日に課した、  
又は課すべきであった加熱式たばこ（新条例附則第16条の2の2第1項に規定する加熱  
式たばこをいう。次項において同じ。）に係る市たばこ税については、なお従前の例によ  
る。

2 令和8年4月1日から同年9月30日までの間に、あきる野市税賦課徴収条例第92条  
の2第1項の売渡し又は同条第2項の売渡し若しくは消費等が行われた加熱式たばこに係  
る同条例第94条第1項の製造たばこの本数は、同条第3項及び新条例附則第16条の2  
の2の規定にかかわらず、次に掲げる製造たばこの本数の合計数によるものとする。

(1) あきる野市税賦課徴収条例第94条第3項の規定により換算した紙巻たばこ（新  
条例附則第16条の2の2第1項に規定する紙巻たばこをいう。次号において同  
じ。）の本数に0.5を乗じて計算した製造たばこの本数

(2) 新条例附則第16条の2の2の規定により換算した紙巻たばこの本数に0.5を  
乗じて計算した製造たばこの本数

- 3 前項各号に掲げる製造たばこの本数に1本未満の端数がある場合には、その端数を切り捨てるものとする。